

## 「第二次 返子市子どもの読書活動推進計画（案）」についての意見募集（パブリックコメント）の実施結果

ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

お寄せいただきましたご意見に対する市の考え方をとりまとめましたので、ここに公表いたします。

### パブリックコメントの実施結果

- 1 実施期間：平成 29 年 12 月 1 日（金）から平成 30 年 1 月 7 日（日）まで
- 2 意見の提出件数：8 件
- 3 意見提出人数：4 人（持参 2 人、FAX 1 人、メール 1 人）

#### 4 意見内容の概要

区 分	件 数
ボランティア団体による子どもの読書活動支援に関すること	3
学校と図書館との連携に関すること	2
具体的な取り組みの内容に関すること	1
緊急財政に関すること	1
計画の実施に関すること	2
パブリックコメントの実施時期に関すること	1
合計	10

## 5 市の対応区分

記号	対応区分	件数
○	意見を反映し、修正したもの	0
□	意見の趣旨や考え方が既に盛り込まれているもの	4
■	意見は反映させないが、今後事業実施の際に参考とするもの	3
▲	基本計画と無関係なため、参考意見とするもの	1
◆	今回のパブリックコメント対象外の内容であり、参考意見として扱うもの	0
	合計	8

## 提出された意見及びその採否

提出された意見とその対応は以下のとおりです。一部要約や分割をしていますので、ご了承ください。

N o.	関連する項目	意見の概要	対応区分	採否の理由	意見数
1	ボランティア団体による子どもの読書活動支援に関すること	市内の小学校において、朝の読書活動の時間が減り、ボランティア団体による読書支援活動の縮小が危惧されることから、継続的な支援活動が行えるよう「学校における読み聞かせの時間確保」を計画に記載して欲しい。	□	教育課程の多様化に伴い、朝の読書活動は、縮小傾向にあります。しかし、子どもたちに読書の楽しさを伝え、読書の習慣づけを促すため、ボランティアを活用して、学校での読み聞かせや学校図書館をサポートする体制を整えます。 (取り組み内容No.52、53)	2

2	学校と図書館との連携に関すること	<p>平成30年度から民間業者委託による、学校支援パックの搬送が廃止予定と聞いているが、「学校支援パック」の搬送の継続実施を希望する。</p> <p>また、「調べ学習へのレファレンス」の体制整備を期待する。</p>	□	<p>平成30年度から、市の緊急財政対策として民間業者委託による学校支援パックの搬送業務は廃止の予定です。しかし、これからも図書館と学校との連携を図るために、学校と協議の上、搬送方法を検討し、学校への資料提供体制を構築して継続的な連携を図ります。</p> <p>また、「調べ学習へのレファレンス」については、現在も図書館が主体となり、学校との連携体制を構築しており、今後も継続した体制整備に努めます。</p> <p>(取り組み内容No.26、36、74)</p>	2
3	ボランティア団体による子どもの読書活動支援に関すること	<p>ボランティアのための研修実施並びにボランティア団体の定期的な情報交換の場の設定を希望する。</p>	□	<p>図書館では、既存のボランティア団体と連携・協力を図るとともにボランティア活動の啓発支援を行っています。しかし、活動全てを把握できていない実態もあることから、これからボランティア団体との交流と情報交換を積極的に行うとともに、今後もおはなし講座などの研修を実施します。</p> <p>(取り組み内容No.42、44)</p>	1
4	具体的な取り組みの内容に関すること	<p>基本的方針の(2)子どもが読書に親しむための機会の提供に「子ども関連施設等においては、それぞれの居場所づくりに応じた図書コーナーの充実に努めます。」を計画に記載して欲しい。</p>	■	<p>子ども関連施設等における図書コーナーの設置は、子どもが読書に親しむための場の提供が目的の一つであると考えます。しかし現状では図書館と関連施設との情報共有も十分には行われていないことから、各施設の利用状況や要望を十分に把握していないのが現状です。</p> <p>今後は、定期的な話し合いの場を設けるなど積極的な連携・協力をして、子どもが読書に親しむための場の提供につなげていきます。</p>	1

5	計画の実施に関する こと	子どもの読書活動推進計画が単なる指針に終わらないように、 家庭を含めたそれぞれの現場で具体的な取り組みを横断的に実 施していくことを希望する。	■ 今回の第二次計画に基づいて、子どもが自主的に読書に向 かうことができるように配慮しながら、読書の楽しさ、大切さを伝 え、本に出合うための環境をつくり、読書に親しむための機会を 提供し、読書活動を推進する体制を整備していきます。ご意見 のとおり、横断的な取り組みをすることで子どもの成長に応じた 読書推進に取り組んでいきます。	1
6	緊急財政に関する こと	予算が確定していない中での計画策定は、困難である。また、 計画を推進するためにも予算の拡充を要望する。	■ 平成30年度から、市の緊急財政対策としてさまざまなサービ スの見直しが予定されています。ご意見のとおり、計画の実行性 と予算の確定は、連動する部分がありますが、計画があるから予 算確保の根拠となる側面もあり、今後のあり方、目標を示すことも 計画策定に向け必要なことと考えています。 市全体で緊急財政に取り組んでいる中、今の段階では、予算 は確定していませんが、第二次計画においても図書館が主体と なり、団体貸出サービスやリサイクル本の提供などで学校への資 料提供体制の充実に取り組むとともに司書教諭と学校図書館指 導員とが連携して読書指導、授業支援を行うことで、子どもの学 びと読書の楽しさを支え、計画を推進していきます。	1
7	計画の実施に関する こと	今回の第二次計画の策定にあたり、誰が中心となりこの計画を 推進するのか。	□ 逗子市教育委員会が、「第二次逗子市子どもの読書活動推 進計画」を策定し、当該計画を実現するため、図書館を中心に、 家庭、地域、学校等や関係機関・団体等が連携・協力をして取り 組みを進めていきます。 (第2章 子どもの読書活動推進計画の基本方針 4 推進体制)	1

8	パブリックコメントの実施時期に関する こと	今回の第二次計画の策定にあたり、予算が確定していないこの時期にパブリックコメントを実施するのは適当でない。	▲ <p>逗子市では、平成25年3月に「逗子市子どもの読書活動推進計画(第一次計画)」を策定し、推進してきましたが、平成29年度で5年の計画期間が満了することから、平成30年度の策定を目指して第二次計画の策定に向け取り組んでいます。</p> <p>ご意見のとおり、予算につきましては、計画を実行する上で連動することも大事な部分であると捉えています。予算に関わらず今後のあり方、目標を示すことも一方では必要なことと考えています。</p> <p>厳しい財政状況の中ではありますが、本の大好きな子どもたちが増えるよう、いつでも好きな時に読書に親しむことができる環境づくりに努め、読書に親しむための機会を提供し、当該計画の達成に向けて取り組んでまいります。</p>	1
---	--------------------------	---	---	---